

Accessibility Developer Community Meeting in Osaka

-アクセシビリティ デベロッパー コミュニティ ミーティング 大阪-

主催：一般社団法人日本支援技術協会 共催：日本マイクロソフト株式会社

Accessible な社会をテクノロジーで実現したい！

誰もが身体状況や環境の変化によっては生活機能に困難を抱え、いわゆる“障害”という状態になります。これが WHO の定義した国際的な“障害”の定義です。障害は特別な状態ではありません。そろそろすべてのエンジニアは、社会や友人や家族、そして自分のためにアクセシビリティを考えるべき時期に来ているのではないのでしょうか。

AI などの最新技術、障害に関する最新情報、実践を通じた経験・・・それぞれが有している技術・知識・経験を共有し、生まれたアイデアをブラッシュアップすることで、全てのヒトにとって Accessible な環境を一緒に実現してみませんか？

対象者

障害者や高齢者の生活に役立つソフトウェアやハードウェア開発に興味のあるエンジニアや研究者

参加要件とお申し込み

Connpass の Accessibility Developer Community のメンバーであること。

メンバー登録とお申し込みは右の QR コードもしくは以下の URL からどうぞ

<https://adc.connpass.com/>



参加費

無料（懇親会含）

スケジュール

時間	内容	備考
12:30	受付開始	
13:00	開会挨拶	
13:05	障害を理解する	障害があるとどんな困りがあるのか、今回は 3 つの障害について当事者に語っていただきます。まずはその特性を理解しましょう。
	A.聴覚障害を理解する	山本 紋子さん：兵庫県聴覚障害者協会 理事であり、目で聴くテレビの手話キャスターとしてもご活躍。聞こえない人の困りと求めることとお話させていただきます。
	B.発達障害を理解する	松谷 知直さん：読み書きに困難がある高校 2 年生。特に学校生活において何が課題なのか、どのように解決してきたのか、あるいは解決できなかったのか、当事者の声を聞きましょう。
14:20	休憩	
14:30	C.肢体不自由を理解する	清水 哲さん（頸髄損傷）：首から下の体が動きません。呼気スイッチを使って家電品を操作したり、口にくわえたスティックでパソコンを操作したり、IT 機器を暮らしに活かしておられます。
15:10	グループ別アイデアソン	関心のあるグループに参加して情報交換を行いつつ、AI や ICT を利用した支援方法について、形にするためのアイデアを膨らませてみましょう。
	A.聴覚障害/ B.発達障害/ C.肢体不自由	
16:10	発表会	
16:40	総評	
16:55	閉会挨拶	
17:00	閉会	

懇親会は 17:30 から近隣の飲食店を予定